

# ニホンウナギ

*Anguilla japonica* Temminck & Schlegel  
ウナギ目・ウナギ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域準絶滅危惧

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠB類

## 選定理由

近年の県内調査でも確認事例が急激に減少し、かつ大型個体の確認に限られていた。三方五湖の調査においても、シラスウナギが全く確認されず、現存個体は人為的に放流されたウナギであった。県内の個体数は極度に減少しているため、絶滅危惧Ⅰ類とした。

## 種の特徴

全長 60cm。体は細長く背部は黒色。河川の中下流域、湖や池沼、内湾の浅海域に至るまで広く生息する。淡水で5～12年を経た後、親魚は秋降海し、南西太平洋で産卵する。稚魚変態してシラスウナギとなり、海洋を遊泳して10月上旬～5月下旬に群をなして、河口に近づき遡河する。

## 分 布

本県では、天然のウナギが県下の河川・湖や池沼等一円に分布していたが、近年は激減した。三方湖、北潟湖では稚魚の放流によるものがほとんどである。

## 生息を脅かす要因

取水堰や帯工等の河川構造物の設置により本種の遡上が妨げられ、健全な生活史が保障できない状況にある。3面護岸等の河川改修により本種が隠れる河岸の間隙や、浮き石の間隙、土手の穴等が減少したことが個体数の減少に拍車をかけていると考えられる。

参考文献 Kaifu et al. (2014)、環境省編 (2015)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○	○	○	○	○				○	○		○		○		○

# ミナミアカヒレタビラ

*Acheilognathus tabira jordani* Arai et al.  
コイ目・コイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

## 選定理由

嶺北地方の河川中流～下流域や溜池・農業用水路等に比較的広く生息するが、既知される生息地での生息数の減少は著しい。また、本種の生息するほかの県では、県条例によって希少野生動植物種に指定し捕獲の禁止や保護計画等が始まっている。

## 種の特徴

全長 6 cm。短い口髭を持ち、側線は完全である。肩部に輪郭の不明瞭な暗色斑と背鰭直下～尾柄部まで青緑色の縦帯がある。産卵期のオスは鮮やかな婚姻色を示し、吻部に追星が現れる。産卵期は春～夏で比較的長い。食性は藻類や底生動物を食べる雑食性。

## 分 布

本州の日本海側、富山～島根県に分布する。本県の嶺南地方と京都府・兵庫県には分布しない。県内では九頭竜川水系の平野部～大野盆地と北潟湖で分布が確認されている。

## 生息を脅かす要因

産卵母貝となる二枚貝の減少が一番の要因と思われる。次にタイリクバラタナゴ（外来魚）やカネヒラ（移入魚）の増加による生息地での競争の激化。マニアや業者等による採集圧も大きな要因になっている。早急な保護と対策が必要だと考えられる。

参考文献 環境省編 (2015)、福井県編 (2002)、中坊編 (2013)、川那部ら (2005)、斎藤・川崎 (2015)、黒澤 (2009)、石津 (2007)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○				○		○	○		○	○

# イチモンジタナゴ

*Acheilognathus cyanostigma* Jordan & Fowler  
コイ目・コイ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧ⅠA類

## 選定理由

本種の分布は本県が日本海側の北限に当たり分布上も重要。三方湖・はず川水系での生息は極めて少ない。既知される生息地はどれも小さく壊れ易い環境である。極めて絶滅に近い種で、危機的状況にある。早急な保護や増殖計画等が必要と考える。

## 種の特徴

全長 8 cm。タナゴの仲間では体高が低く、口髭は短い。オス・メス共に体側肩部～尾柄部に明瞭な青緑色の縦帯があり特徴的で食性はやや植物食に偏った雑食性。産卵期は春～初夏。産卵母貝は大型の二枚貝（ドブガイ・カラスガイ）を好む。

## 分 布

琵琶湖・淀川水系、由良川と本県の三方湖・はず川水系等が自然分布地。広島県・熊本県・富山県に移入され分布。本県の九頭竜川水系でも移入されたものが確認されている。

## 生息を脅かす要因

水質の悪化と護岸・河川改修工事等で産卵母貝（大型二枚貝）が減少したことが、最も大きな要因と考えられる。また、侵略的外来魚のオオクチバス・ブルーギルによる捕食の影響も大きい。「三方湖では1990年代後半に絶滅」とされており今後の詳細な調査を要する。

参考文献 環境省編 (2015)、福井県編 (2002)、中坊編 (2013)、川那部ら (2005)、斎藤・川崎 (2015)、黒澤 (2009)、石津 (2007)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○									○							

淡水魚類